

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 124 2013.4.14 連絡先 402-1622 >

4月28日は・・・「従属と屈辱の日」

4月28日、安倍内閣は「主権回復・国際社会復帰を記念」する式典を開こうとしています。1952年のこの日は、サンフランシスコ講和条約（サ条約）と日米安保条約が発効した日です。日本は形式的には独立国したものの、二つの条約によってアメリカへの従属的な地位に縛り付けられたというのが歴史の真実です。日本共産党はこのような式典は中止することを強く求めています。

サ条約はアメリカの世界戦略に反対しない48カ国とだけ結ばれたもので、日本軍国主義の被害を受けた中国、韓国、朝鮮は招待すらされず、ソ連なども調印しませんでした。また、3条で沖縄などがアメリカの統治下におかれ、2条C項で千島列島を放棄しました。さらに、「日本に平和的・民主的政府が樹立された段階での占領軍撤退」を明記したポツダム宣言に反して6条で「協定に基づく外国軍の駐留を妨げない」とし、安保条約1条によりアメリカ軍の占領状態を継続させました。この安保条約は、完全には秘密交渉のもとで結ばれ、サ条約の調印式には7人の全権代表が出席したのに対し、安保条約の署名は当時の吉田首相氏だけでした。国内は厳しい報道統制が敷かれ、一切の批判を許さない戒厳令的な状態でした。

このように、サ条約と安保条約は当時の支配層を含め、ほとんどの日本人が内容を知らされず、また、納得がいかないまま押し付けられたものです。その出発点である4月28日を「主権回復」として祝うのは、歴史の偽造です。



同時に、この動きが、日本国憲法を安倍政権のいう「主権回復」以前に制定されたものとして、その改変を求める動きと一体のものであることもきわめて重大です。

みち子のひとりごと パソコン

家で使っているパソコンがとうとう隠居することになりました。一つの動作をするのに、とにかく時間がかかります。パソコンの前で待っていらなくても別の用をすませて部屋に戻っても変化なし、ということが多くなりました。このパソコンは茨城で必要に迫られて買ったもので、本体に貼ってあるシールには「15年春モデル」と書いてありまして、10年間使ったことになりました。お店で10年使った話をすると、「今は4年くらいで買い替えることが多いですよ、すごいですね」とお褒めの言葉。大きなトラブルもなく本当によく働いてくれたものです。新しいパソコンは楽しみですが、初期設定がややこしいので出張設定を頼みました。パソコンが届く日までに、部屋の掃除をしておかなくては・・・。



